



鳥獣被害防護柵に関する勉強会を開催しました

第二部 意見交換の内容抜粋

	困っていること	対策
除草関連	<ul style="list-style-type: none"> 電気柵下の除草効率化 ワイヤーメッシュ柵下の草刈り 	<ul style="list-style-type: none"> ポールの間隔を広くする(5m程度) ナイロンコードの草刈り機を使用 断線時に備え予備の電線を携帯 設置時、電線端部を余分に残す
電気柵設置関連	<ul style="list-style-type: none"> 四隅の支柱の設置方法 電線の緩み解消 支柱のぐらつき 	<ul style="list-style-type: none"> 四隅に支柱を斜めに追加 支柱に余分に巻き付ける 支柱を動かして調節 木杭で補強
中型獣対策	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤーメッシュ柵の下部侵入 	<ul style="list-style-type: none"> ネットを下段に張る

2月24日(金)、鳥獣対策入門講座を開催しました。第一部では町の防護柵貸与事業の説明や、設置前の注意点、設置後の管理点検について町職員や専門家から説明を行いました。

第二部では防護柵を使用している皆さんで意見交換を行い、管理の工夫などを話し合いました。

今回は7月14日(金)、7月21日(金)に開催予定ですので、興味のある人はぜひご参加ください。



草刈り機の歯がナイロンコードになっており、ワイヤーメッシュ柵を切断しない



意見交換の様子(第二部)



勉強会の様子(第一部)



有害鳥獣の対策には地域の皆さん一人ひとりの力が必要です。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。



☎ 農林水産課農林水産係
☎ 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

防護柵の貸与(出荷を目的とした農地に限る)

追い払い花火の配布

鳥獣対策に関する勉強会



町ホームページでもご覧いただけます

※詳しくは18頁「浪江町鳥獣対策講座」をご覧ください。

INTERVIEW



みんなの鳥獣対策

浪江町の地域課題「鳥獣被害」を防ぐ、軽減させるため、地域で取り組む鳥獣対策を紹介します。



中野 弘寿さん
いわき市在住。通い農業で立野上・中地区では玉ねぎ(真の陣)、立野下地区で水稲の栽培を行っています。

■加害獣種を教えてください
イノシシ・ニホンザルです。

■いつから、どんな被害がありましたか?
平成29年3月に帰還し、平成31年から水稲の作付を開始しました。令和元年から(※)交付金を使って水路や農道保全管理の活動を行う中で、イノシシの掘り起こしが多くみられました。また、令和2年から「浜の輝」の生産を始めましたが、立野上地区はニホンザルの群れの行動圏内で、被害が懸念されていました。

■対策のきっかけを教えてください
地域に鳥獣が多くなることはわかっていたので、作付けを始める前から対策をしようと考えていました。そこで町の「防護柵貸与事業」を活用し、作付け前のほ場に防護柵を設置しようと思いました。

■具体的な対策方法を教えてください

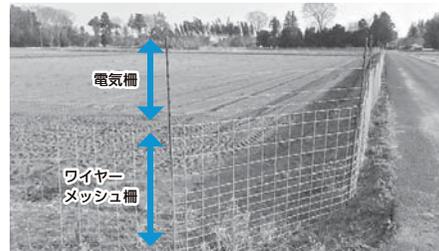
農地を管理していく中で、効率よく作業するよう心がけています。設置後は点検を定期的に実施しています。農作業時に、柵の破損や、電気柵の電線の緩み、つる性の植物による電気柵の漏電などを点検しています。電線が緩んだ時は、緊張具を使用しています。つる性の植物が支柱や柵を伝って短期間で伸びるため、見つけ次第除草、または除草剤を散布しています。

■今後の意気込み、伝えたいこと

町と相談しながら営農を続けていきたいです。担い手を確保していくためにも行政と町民と企業が三位一体になっていく必要があると考えます。また、自



緊張具は電線のたるみ防止に用いられ、たるんだ電線をピンと張ることができます。



中野さんが使用する複合柵
ニホンザルの対策をする場合は、ワイヤーメッシュ柵の上に電気柵を張った複合柵が有効になります。

■ありがたかったです。
作業の時間と人手が限られている中で、道具をうまく使って日々の点検を行われていると感じました。

※多面的機能支払交付金 農業・農村の有する多面機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援する交付金です。

分も含め、営農を再開する人の中には何から始めていいかわからない、何を聞いていいかわからないといった人が多くいます。その人たちが安心して営農できるように勉強会や情報共有は重要であると思います。